

## グリーンスローモビリティと次世代電動車いすの試乗会を開催！

本日、区は、区立（仮称）荻外荘公園（荻窪2-43）とその周辺でグリーンスローモビリティと次世代電動車いすの試乗会を開催しました。試乗会には田中良杉並区長のほか、三重野真代さんら学識経験者などが参加。次世代の乗り物として地域の足を担う可能性がある新モビリティを一足先に体験しました。

区は、今後の高齢化の進展等を見据え、誰もが気軽に快適に移動できる地域社会の実現に向けた取り組みを進めており、現在策定作業を進めている地域公共交通計画の中で、MaaS<sup>\*1</sup>等新モビリティサービスの導入を検討しているほか、令和4年度はグリーンスローモビリティ<sup>\*2</sup>の実証実験を予定しています。

これに先立ち、本日、区立（仮称）荻外荘公園とその周辺で、グリーンスローモビリティと次世代電動車いすの試乗会を開催しました。

試乗のため用意されたグリーンスローモビリティ「モビリティワークス LSV-4」（写真左）は運転手を含め定員4名となっており、（仮称）荻外荘公園を起点に、荻窪地域区民センターや大田黒公園を周回するコースを10分程度で走行。また、次世代電動車いす「WHILL Model C2」（写真右）は公園内を5分程度で走行しました。

試乗会には地域の団体である「荻外荘懇談会」や「荻窪まちづくり会議」などのほか、区長や東京大学公共政策大学院特任准教授でグリーンスローモビリティを研究している三重野真代さんら学識経験者などが参加。それぞれの新モビリティを体験した区長は、「電車やバスなどの大規模な交通システムだけでなく、ちょっとした距離を走行し小回りが利く小規模な交通システムの必要性を感じた。」と今後の導入に対し前向きにコメントしました。

翌26日（土）は、区民などから募った一般募集者の試乗会となっており、グリーンスローモビリティと次世代電動車いす、それぞれ45名と120名が試乗する予定です。

<sup>\*1</sup> MaaS…Mobility as a Service の略。ICT の活用によるマイカー以外の移動をスムーズにつなぐ新たな「移動」の概念又はさまざまな移動サービスを1つに統合させた新たなモビリティサービスです。

<sup>\*2</sup> グリーンスローモビリティ（略称：グリスロ）…時速20km未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービスで、その車両も含めた総称です。グリスロは環境に優しい移動サービスとして全国各地で活用され、そのゆっくりと開放的な特性から乗客同士のコミュニケーションを生む効果も期待されています。



### 【問い合わせ先】

都市整備部管理課交通企画担当：03-3312-2111（内線3521）

総務部広報課：03-3312-2111（代表）